

## Ⅱ 苦情の現状

## Ⅱ 苦情の現状

### 1. 苦情件数とその推移

令和5年度に受け付けた苦情は72件であった。

### 2. 種類別苦情件数

典型7公害(大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)に関する苦情件数を種類別にみると、大気汚染10件(13.9%)、水質汚濁4件(5.6%)、騒音18件(25.0%)、振動1件(1.4%)、悪臭34件(47.2%)、その他5件(6.9%)となっている(土壌汚染、地盤沈下は0件)。

公害ごとの苦情処理件数の推移をみると、悪臭に関する苦情が最も多く、その内訳は野焼きの煙や生活排水の臭い等である。

騒音に関する苦情が続いて多くなっており、工場等からの機械騒音や作業騒音、建設工事に伴う建設作業騒音等である。

その他、水質汚濁の苦情では河川の濁りなど、大気汚染の苦情では工場や工事現場等による粉塵の飛散等が見られた。

